

## 小松島市無形民俗文化財 立江八幡神社で立火吹筒花火を奉納



吹筒花火の様子

立江町の立江八幡神社で9月19日、秋季例大祭が開かれ、小松島市無形民俗文化財に指定されている立火(たてび)吹筒花火が奉納されました。立江八幡神社の花火は歴史が古く、阿波花火発祥の地と言われています。

今年の例大祭では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、花火の奉納などのみが行われました。

奉納では、火薬を詰めた竹筒を木柱に括り付けて点火。爆音とともに筒先から火花が降り注ぎ、迫力ある光景に見学者は歓声を上げていました。

## 夜間に発生する災害に備えて 夜間避難訓練を実施



懐中電灯を手に集団で避難する参加者

10月11日、新居見町にて新居見地区自主防災会の主催により、夜間避難訓練が行われました。この訓練は、夜間に地震や大津波が発生したとの想定のもと高台へ避難するというもので、新居見町内では小松島市内では珍しく、夜間の避難訓練が継続的に行われています。

訓練では地元住民ら約180人が参加。子どもや要介護者など災害時、特別な配慮が必要となる方も多く参加し、自主防災会より配布された懐中電灯を手に、高台への避難を行いました。

## 市政推進に向け各外部団体と連携協定を締結！

### 9月23日 第一生命保険株式会社と協定締結

高齢者等の生活状況の見守りに関する協定が締結されました。この協定は、第一生命保険株式会社の担当者が顧客の高齢者宅を訪問した際、郵便受けに新聞が溜まっているなどの異常に気付いた場合、行政機関にその情報を提供するという内容です。本協定により小松島市内の独居高齢者世帯などの情報共有が図られ、孤独死の防止などが期待されます。

### 10月7日 徳島トヨタ自動車株式会社と協定締結

災害発生時に避難所等における電力供給に関する協定が締結されました。この協定は、地震災害などにより大規模な停電が発生した際に、電気自動車等を電力源として活用し、避難所で必要な電化製品を使用できるようにする内容です。市長応接室での協定締結後、市役所駐車場にて、電気自動車による電力供給実演が行われ、中山市長はじめ、多くの市職員や来庁者の方が見学に訪れました。



電力供給中の電気自動車を見学する中山市長

### 10月9日 合同会社オーシャンワンと協定締結

災害時における無人航空機（ドローン）を活用した支援協力に関する協定が締結されました。この協定は、小松島市内で大規模な災害が発生した際に、無人航空機を活用し、被害状況の調査や被災者の捜索などに役立てるというものです。合同会社オーシャンワンの岡久洋一代表は、「大型の防災ヘリなどでは入れない狭隘な場所での捜索などに役立てたい」と防災事業での活用について語っていました。